

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名

伊勢原市立成瀬中学校

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
A問題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設問の意図を理解し、目的に応じて文章を読みとることができている。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎的な計算や、公式を理解し活用することができている。 確率について意味や約束の理解ができている。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開について自分の考えを整理し、表現する(書く)こと。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数について、比例定数等の約束やグラフを活用すること。 図形について、平面と立体の関連や、証明のために必要な条件を整理すること。
B問題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面の展開や描写に注意して文章を読みとり、内容を理解することができている。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の活用については、グラフや表から必要な情報を取捨選択し、正答に導いたり、数学的に説明したりすることができている。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文学作品や伝統的な言語文化を理解すること。 必要な情報を取捨選択し、自分の考えを表現する(書く)こと。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数式について、事象に対応して捉えたり活用したりすること。 図形についての定義の理解と活用(応用問題や証明問題への取り組み)をすること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が定着している生徒が多い。 学校のできごと等、家族で話をしている家庭が多く、保護者が学校行事や授業を参観する割合も高い。 学校の規則を守る等の規範意識が高い。 学校生活が楽しく、仲間とともに過ごすことを有意義と感じている生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習については、学習時間の差が大きい。 スマートフォンや携帯電話を使用する時間の長い生徒の割合が高い。 地域の施設を利用したり、地域行事への参加の割合が低い。

2 ① 授業の充実に向けた重点的な取組

・授業の目標(ねらい・めあて)を明確にし、学習内容の振り返りをしていく。

【国語】

- 漢字や慣用語句については、文章中にどのように使用されるかなど考えることを学習していく。
- 文章を書く場合、自分の考えを整理するとともに、相手(読み手)に伝わりやすい表現となるよう工夫していく。
- 自分の意見と別の(対立する)意見も尊重し、自分の考えを広げたり、再構築する機会を設定するようしていく。

【数学】

- 基礎的な数式や公式については、演習問題等で知識の定着をはかるようしていく。
- 応用問題では、既習の学習内容から必要な事項を選択し、筋道をたてて考え、正答を導き出す指導を行っていく。
- 数量や図形については、身近な生活の事象と関連を持たせ、興味・関心をもって課題に取り組めるような工夫をしていく。

2 ② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

・基本的な生活習慣はおおむね定着していると思われていますが、「朝食をとらない」「就寝時間が遅い」という生徒もおります。生活習慣の確立は、学習も含め諸活動の基盤となるものです。各家庭での見直しをお願いします。

・「学校での様子」や「スマートフォン使用の約束」など話し合いをしているご家庭が増えている様子です。引き続き、家庭内での対話を重視していただければと思います。

・地域の活動については、学校からも情報を発信したり、参加しやすい環境整備を行いたいと思っております。ご家庭でも声かけをよろしくお願いいたします。